

## 双葉地方の復興に向けた 道路の復旧・整備に関する要望を実施



↑要望書提出の様子

2月21日、双葉地方町村会と双葉地方町村議会議長会は合同で井戸川相双建設事務所長に対し、双葉地方の復興に向けた道路の復旧・整備に関する要望を実施しました。

常磐自動車道の早期4車線化、国道6号線の4車線化、ふくしま復興再生道路の整備、復興を支える道路の整備について要望し、広野町として県道上戸渡線広野線の改良整備を要望しました。

## いわき市・双葉地方町村会合同で 東京五輪聖火リレーに関する要望を実施



↑鈴木俊一東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣（写真右）に要望書を提出

2月13日、いわき市と双葉地方町村会は合同で東京都内において、復興大臣、環境大臣、東京オリンピック・パラリンピックの競技大会の聖火ルートとして、福島県浜通りを縦断する国道6号線を利用するよう要望しました。

また、聖火リレールート誘致に係る帰還困難区域内の6号線の除染についても併せて要望しました。

## ふたば未来学園高校 1期生の卒業を祝福



↑雨の中登校する生徒に声を掛ける広野町安心・安全ネットワーク会議員

3月1日、福島県立ふたば未来学園高校の第1期生卒業式の開式前、広野町安心・安全ネットワーク会議の会員は、同校昇降口前で卒業を祝う横断幕を持って卒業生の登校を迎えました。

広野町安心・安全ネットワーク会議は、平成27年4月に実施された同校開校式でも今回卒業する1期生が新入生として登校する際に、入学を祝う横断幕を掲げて声掛けを行いました。続々と登校する生徒たちに向け、同会員の皆さんは感謝の思いを持って元気な声で卒業を祝福しました。

## 木内東北農政局長が来町



↑木内岳志東北農政局長（写真左）に要望書を手渡す遠藤町長（写真右）

2月27日、木内岳志東北農政局長が広野町役場を訪れ、遠藤町長と意見交換を行いました。遠藤町長は木内東北農政局長に対して町の農業復興の状況を説明するとともに、ほ場整備事業の財源確保、農業次世代人材育成と風評払拭、新規就農者の確保などの要望書を提出しました。

## 広野町認定こども園 建設工事安全祈願祭・起工式を実施



↑鉄入れの様子

3月20日、広野町認定こども園の建設工事安全祈願祭・起工式を広野町保育所前駐車場で開催しました。広野町認定こども園は、幼保連携型こども園として整備するもので、建物の完成予定を平成31年1月として工事に着手します。

遠藤町長は安全祈願祭で鉄入れを行い、起工式では式辞を述べました。

来賓として出席した横山忠弘復興庁福島復興局長、石川相双地方振興局次長、黒田広野町議会議長がそれぞれ祝辞を述べられました。

## ふくしまっ子・健康優秀校の 表彰について



↑「特別賞」の受賞を報告する校長先生（写真左）と生徒代表者（写真右）

2月28日、福島県では児童生徒の体力向上や健康な生活に向けて特色ある取り組みを推進している学校や体力向上に積極的に取り組み顕著な成果を上げている学校を表彰しており、平成29年度において、「ふくしまっ子・健康優秀校」として広野中学校が「特別賞」を受賞しました。広野中学校では、家庭や地域・小学校と連携強化に取り組んでおり、これからも引き続き、たくましく生きるための健康・体力の向上に向けて取り組んでいきます。

## 相双復興推進機構の 福井邦顕理事長が来庁



↑支援継続などの話をする福井邦顕理事長（写真右）

2月19日、相双復興推進機構の福井邦顕理事長が広野町役場を訪れ、遠藤町長と意見交換を行いました。

相双復興推進機構は、官民合同チームとして相双地域の商工業事業者支援事業を展開しており、これまで4,900件を超える事業所を訪問し必要に応じて支援を行っています。平成29年度から自治体への支援事業を開始しており、引き続き双葉地方の活性化に向けて取り組んでいきます。

## 下越仙台陸送(株) 広野レミコン工場が竣工



↑テープカットをする関係者

2月26日、広野工業団地に進出した下越仙台陸送(株)の広野レミコン工場が完成し、竣工式が実施されました。

この工場は、国の津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金を活用して整備されたもので、双葉地域を中心とした復興事業に供給する生コンクリートを製造します。

竣工式には遠藤町長や黒田議会議長らが出席し、祝辞を述べました。